

2021年11月26日

各位

特別養護老人ホームカントリービラ青梅
施設長 小嶋直之

「ご面会に関するお願い」について

謹啓

師走の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度国から「ワクチン接種（2回）の方」「検査陰性の方」の直接面会の方法を各施設で検討を行うことを求める旨の事務連絡がありました。（別紙参照）当施設と致しましては、11月よりワクチン接種済の方への面会受付を再開しておりましたが、この度の事務連絡の趣旨に基づき「検査陰性の方」のご面会を取り扱って参りたいと考えております。つきましては皆様におかれましても、このことに関連して以下の点をご確認の上ご配慮の程お願い申し上げます。

謹白

- 1) 「検査」のうち「抗原検査」はPCR検査と比べ、ウィルス量が少ない場合は感染していても「陰性」となる場合があるため陰性の証明には出来ません。
- 2) 抗原検査キットで品質が保証されている「体外診断用」は通販では販売しておらず、手に入りやすい「研究用」の場合は製品により結果に対する信頼性のばらつきが激しいため参考にはできません。
- 3) PCR検査で「陰性」であった場合も、あくまで検査時点での「陰性」であり、現時点での感染の有無を示すものではありません。
- 4) ワクチン接種を2回済ませた方であっても、ブレークスルー感染（ワクチン接種後に感染）は高齢者福祉施設協議会の調査で13%の発生が報告されています。
- 5) ワクチン接種による抗体価は接種後6カ月で10分の1になり、免疫は低下してしまいます。（参考）横浜市立大学「新型コロナウイルスワクチン接種後6か月時点の抗体価に関する調査結果報告」

以上のことから、検査結果、ワクチン接種済に関わらず面会時には「もしかすると自分は感染しているかもしれない」という前提をもって、以下の各点（「事務連絡（「面会を実施する場合の感染防止対策）」）を遵守してください。

(面会を実施する場合の感染防止対策)

※国からの令和3年11月24日付事務連絡による

- 面会者に対して、体温を計測してもらい、発熱が認められる場合には面会を断ること。
- 面会者がのどの痛み、咳、倦怠感、下痢、嗅覚・味覚障害等の感染症が疑われる症状を有する場合やその他体調不良を訴える場合には面会を断ること。
- 面会者の氏名・来訪日時・連絡先については、感染者が発生した場合に積極的疫学調査への協力が可能となるよう記録しておくこと。また、面会者が面会后、一定期間（少なくとも2日）以内に、発症もしくは感染していたことが明らかになった場合には、施設にも連絡をするよう面会者に依頼すること。
- 面会者は原則として以下の条件を満たす者であること。
 - ・ 濃厚接触者でないこと
 - ・ 同居家族や身近な方に、発熱等の感染症が疑われる症状がないこと
 - ・ 過去2週間以内に感染者、感染の疑いがある者との接触がないこと
 - ・ 過去2週間以内に発熱等の感染症が疑われる症状がないこと
 - ・ 過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航歴がないこと。
 - ・ 人数を必要最小限とすること。
- 面会者には、面会時間を通じてマスク着用、面会前後の手指消毒を求めること。
- 一定の距離を確保するなど、面会者の手指や飛沫等が入所者の目、鼻、口に触れないように配慮すること。
- 面会時には、換気を十分に行うこと。
- 面会場所での飲食は可能な限り控えること。大声での会話は控えること。
- 面会者は、施設内のトイレの使用を必要最小限とすること。
- 面会后は、使用した机、椅子、ドアノブ等の清掃又は消毒を行うこと。
- ワクチン接種後にも新型コロナウイルスに感染することがあることや、検査結果が陰性でも感染している可能性を否定しているものではないことを踏まえ、ワクチン接種者も含め、「三つの密」の回避、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗い等の手指衛生、換気等の基本的な感染対策を引き続き徹底するとともに、各施設においては、引き続きクラスターの発生に対する警戒を怠らないこと。

また、当施設の具体的な面会受付に関する手順等については、先日前お知らせいたしました内容にそって行いますので、あわせてご確認くださいませようお願い申し上げます。